

算数、数学

令和8年度 授業改善のポイント

- 1 自力解決の場面で、できていることやつまづいていることなど一人一人の学習状況を見取り、それらを生かしてねらいの達成につながる学び合いを展開する。
- 2 資質・能力の育成に向けて算数・数学の問題発見・解決の過程を意識した授業づくりを行う。[算数・数学の問題発見・解決の過程 小学校学習指導要領解説 算数編p8 中学校学習指導要領解説 数学編p23参照]

児童生徒の考えを生かした学び合いの展開

【指導事例】「小数の倍」(小学校第5学年)

問題 右の表は、はるかさんたちの家から駅までの道のりを表しています。
はるかさんの道のりをもとにする、ほかの人の道のりは、それぞれ何倍ですか。

家から駅までの道のり	
名前	道のり (km)
はるか	2.4
ゆうた	4.8
ゆみ	3.6
ひろし	1.8

【自力解決での見取り】

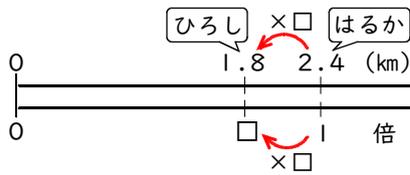
数直線を使って正しく立式できていたが、ひろしさんについて求めるときに誤答が多いな。つまづいている児童の考えを全体で取り上げよう。



ポイント1 自力解決の場面における児童生徒の学習状況の見取りを生かした学び合い

【学び合い 問題の解決】「ひろしさんの道のりは、はるかさんの道のりの何倍か」

あれ？ □は1より小さくなるという見通しだったのに、1より大きくなっています。



$$2.4 \times \square = 1.8$$

$$\square = 2.4 \div 1.8$$

$$= 1.33 \dots$$

答え 1.3倍

このような求め方が多くありました。どうしてこのように考えましたか？



ゆうたさんやゆみさんのときと同じように「大きい数÷小さい数」をしたんだけど…。

どのように考えればよかったのかを(ペアで)話し合ってみましょう。



数直線を見ると、2.4を1とみているので、2.4で割れば良いと思う。

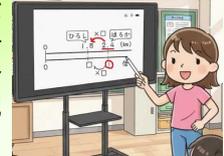
1.8 ÷ 2.4 = 0.75だから、1より小さくなるという数直線を基にした見通しにも合うね。

じゃあ、倍を求めるときって、何に気を付けたらいいのかな？

どちらの数を1とみているのかを確認することが大切だね！

重要 誤答を取り上げる場合は、「どこが間違っているか」だけではなく、「なぜそのように考えたのか」という理由も問い、つまづきの原因に気付かせることが大切です。クラス全体でつまづきを共有し、それを基に学び合うことで、自分や集団の考えを広げたり深めたりすることにつながります。

ICT 電子黒板に児童生徒のノートなどを提示することで、板書の時間を短縮することができます。また、着目させたい箇所を拡大させたり、タッチペンで色分けして説明させたりすることで、児童生徒の理解につながります。



ポイント2 問題の解決後に、解決過程を振り返る場の設定

【統合的に考える比較・検討の場の設定】

〈ゆうたさん〉 $2.4 \times \square = 4.8$ $\square = 4.8 \div 2.4$ $= 2$	〈ゆみさん〉 $2.4 \times \square = 3.6$ $\square = 3.6 \div 2.4$ $= 1.5$	〈ひろしさん〉 $2.4 \times \square = 1.8$ $\square = 1.8 \div 2.4$ $= 0.75$
--	---	---

「三つの式」の共通点を発表した後、気付いたことを共有します。

小数も整数と同じで、何倍かを求めるにはもとにする大きさを割っています。

【発展的に考えた振り返りの例】

分数のときも、もとにする大きさを割るのかなと思いました。



私の身長をもとにして、クラスみんなの身長を比べてみたいです。



重要 問題を解決した後に「数学的な見方・考え方を働かせる」活動を設定します。

- 求め方の共通点・相違点や既習事項との関連を統合的に考える活動
- 複数の考えを関連付けて統合的に考える活動
- 問題の条件を変えたり考察の範囲を広げたりするなど発展的に考える活動

振り返りでは、「算数、数学のよさ」「働かせた数学的な見方・考え方」「解決に有効だった手立て」「新たな気付きや疑問」などの視点を示して、児童生徒が本時の学びや自己の変容を自覚できるようにします。